



今の特集 ひがしよどがわ新聞 (一般公衆浴場) お風呂屋さん

長きにわたり市民の公衆衛生を支えてきた「銭湯(一般公衆浴場)」。今では、年々減少し、見かけることも少なくなっていますが、東淀川区では今も10軒の銭湯が営業されています。 大阪市では、市民グループ「Re.FURO OSAKA」による「銭湯プロジェクト」が立ち上がり、銭湯を盛り上げ、地域の活性化に寄与することを目的とした「銭湯データベース」づくりが今年2月から始まっています。



住みます芸人×昭和湯店主対談 町には風呂屋が必要です!

福人さん(以下福) 昭和湯さん、いい雰囲気ですね。番台の感じも懐かしい!

森川さん(以下森) ありがとうございます。福人さんは風呂屋好き芸人なんですよ?

福 昔から好きで、小学生の頃は週2〜3回通っていました。お風呂上がりには脱衣所のテレビでナイターを見ながら、おっちゃんたちと喋るのが楽しかったですね。知り合いでもないのに(笑)

森 ゆるくつながりあえる場所ですよ。うちでも同じ時間に来る常連さんたちは、来られない日の前日に「明日は休むわ」って番台の僕に伝言するんですよ。来ないと他の人が心配するので(笑)。

福 安否確認の場もあるんですね。



森 一人暮らしの高齢の方が、家のお風呂だと何かあった時に心配だからと来られるケースもありますよ。地域コミュニティ化していて、時代とともに風呂屋の役割も変化していますね。

生活に銭湯を加えると、新しい「何か」が始まります!

銭湯は地域と密接に結びついており、銭湯の活性化は地域の活性化につながります。まち歩きやショッピング、仕事の後、銭湯に入る。お腹がすいたら銭湯で聞いたおスヌメのお店で一杯呑んだり、接骨院でマッサージを受けたりと、銭湯は、ライフスタイルの前後をつなぐ中間点なのです。普段の生活に銭湯を一つ加えるだけで、全く新しいライフスタイルを味わえます。

親子で行ってみるのはどうでしょう。我々の世



くさんありました。

森 年々減ってきていますが、やっぱり町に風呂屋は必要だと思うんです。大阪北部地震の際に被災地の方を対象に無料入浴サービスを行ったんですが、その時に、民間のインフラ的な役割を風呂屋が果たせたら良いのではと感じました。

福 僕のような風呂屋好きにも絶対必要です。

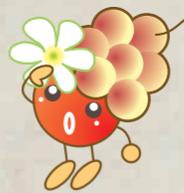
森 福人さんにとって、風呂屋の魅力はどんなところですか?



代にはノスタルジーを、子どもたちには新鮮さを与えてくれることでしょうか。行き帰りの道すがらの会話も弾みそうな気はしませんか。 家庭のお風呂では味わえない非日常とコミュニケーションを体験しに、ご家族やお友達同士で銭湯を利用してみてはいかがでしょうか。



東淀川区長 北岡 均



意外と知らない!? お風呂屋さん用語

■風呂屋(ふろや)

関西では風呂屋、関東では銭湯と呼ぶ傾向がある。風呂屋や銭湯は「一般公衆浴場」に、スーパー銭湯は「その他の浴場」に分類される。

■主湯(おもゆ)

一番大きい浴槽のこと。風呂屋の顔とも言える存在で、主湯の温度がその風呂屋の印象を決める。昭和湯は少し熱めの42度に設定。

■電気風呂(でんきぶろ)

電極板を入れて電流を流すもの。関東より関西の設置率が高いと言われる。

■かかり湯

浴槽に入る前にお湯で体の汚れを流すこと。熱さに体を慣らす働きもある。

■カラシ

蛇口のこと。オランダ語で鶴を意味する「クラシ」が語源と言われる。

お得な制度を使って、お風呂屋さんに行ってみよう!

大阪市高齢者入浴料割引(大阪市の補助事業) 市内に居住する70歳以上の高齢者の方は、通常440円を270円の割引価格で入浴できます。 開催日:毎月1日と15日

親子ふれあいデイ(浴場組合独自事業) 土曜日は親子で、家族で、お風呂屋さんへ!保護者1人につき、同伴の子ども(小学生以下)3人まで無料で入浴できます。 開催日:毎週土曜日

一般公衆浴場に関するお問い合わせ・ご相談

生活環境 2階 23番 4809-9973

※実施していない浴場もございます。事前にご確認の上、ご利用ください。